

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

J R 船 橋 駅 周 辺 地 区 都 市 再 生 整 備 計 画

平 成 31 年 1 月 29 日

千 葉 県 船 橋 市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成31年1月29日

計画の名称	J R 船橋駅周辺地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）					交付対象	船橋市										
計画の目標																	
本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の再構築並びに便利で快適な交流拠点づくり ・ 駅へのアクセスを含む都心道路ネットワークの構築 ・ 誰もが安全かつ快適に利用できる環境整備																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・ 駅へアクセスする都市計画道路や駅周辺を南北に縦断する都市計画道路を整備することにより、4 駅（J R 船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅、東葉東海神駅）の定期外乗客数の増加及び地区周辺の主要幹線道路の交通渋滞の緩和を図る。																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値									備考				
				当初現況値		中間目標値		最終目標値									
				(H26当初) (H〇〇末) (H33末)													
				85,028 (人／日)													
				1.59 (混雑度)													
4 駅（J R 船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅、東葉東海神駅）の定期外乗客数（≒来街者数）【4 駅の合計値】									87,000 (人／日)								
交通渋滞の緩和（地区周辺の国・県道等主要幹線道路の混雑度）【国道14号線、船橋停車場線、船橋・我孫子線、夏見・小室線の平均混雑度】									1.14 (混雑度)								
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		43,129.0 百万円	A	3,132.0 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.0%			
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
1-A-1			船橋市	直接	船橋市	J R 船橋駅周辺地区都市再生整備計画事業	道路 (L=397m)、エレベーター (N=1	船橋市						3,132			
合計														3,132			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	252	127			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	252	127			
前年度からの繰越額 (d)	0	189			
支払済額 (e)	63	213			
翌年度繰越額 (f)	189	103			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

都市再生整備計画(第2回変更)

JR船橋駅周辺地区

千葉県 船橋市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	フナバシ市 船橋市	地区名	フナバシエキシュウヘチク JR船橋駅周辺地区	面積	68 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				

目標

大目標 本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の再構築並びに便利で快適な交流拠点づくり

小目標① 駅へのアクセスを含む都心道路ネットワークの構築

小目標② 誰もが安全かつ快適に利用できる環境整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

JR船橋駅周辺地区は、JR総武線・京成本線・東武野田線・東葉高速線の鉄道4線が乗り入れており、JR船橋駅・京成船橋駅・東武船橋駅の3駅の一日平均乗降客数は約47万人を数えるとともに、10路線34系統のバスルートをもつ、県内有数の交通ターミナルとなっている。また、地区北西部の東海神駅の1日平均乗降客数は約5,800人となっており、地区の生活拠点形成している。駅北口においては、2つの市街地再開発事業が施行され、駅前広場の地下には563台を収容する船橋北口駐車場、その上部にはお祭り広場のあるペDESTリアンデッキが整備され、平成27年10月には、JR船橋駅周辺地区都市再生整備計画(第2期)に基づき、保健・医療・福祉サービスの拠点を目的とする保健福祉センターが完成した。一方、駅南口においては、再開発事業による施設建築物(FACE)が平成15年3月に完成し、平成23年3月には、千葉県により事業着手された京成線連続立体交差事業も完成したところである。

当該周辺地区における主要な都市施設としては、駅北口に天沼弁天池公園(面積約0.94ha)、南口には中央公民館、市民文化ホール、中央図書館、勤労市民センターといった公共公益施設が点在し、前出の南口再開発ビル(FACE)には、ミニ市役所としての機能を持つ「総合窓口」や「市民活動サポートセンター」といった市民生活の利便性向上を図るための施設等が設けられている他、ミニコンサートや講演会等幅広く利用可能な「文化創造館」(きららホール)が設けられ、本町通り交差点の再開発ビル(スクエア21)には「市民ギャラリー」、「茶華道センター」が設けられるなど、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られているところである。

なお、駅へのアクセスや地区内外の交通の円滑な処理を図るため、3・3・7号線や3・4・11号線といった都市計画道路や、南北駅前広場（北口：面積約1.14ha、南口：面積約1.17ha）が都市計画決定されており、船橋駅周辺においては、市民と協働によるまち歩き等を実施しており、市民意向を反映した交通安全対策や道路等のバリアフリー化を推進する事業計画が策定されている。

この地区は、平成19年から平成23年度及び平成24年度から平成28年度まで、第1・2期都市再生整備計画に基づき、まちづくりの目標を達成するよう事業が行われてきた地区であるが、事後評価の結果を受け、引き続き当該3期計画を実施する。

課題

JR船橋駅周辺地区は、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られつつあるが、周辺の幹線道路が十分に整備されていないことなどから交通渋滞が発生し、歩行者が安心して快適に通行できる空間も不足している。また、船橋駅には多くのバス路線が集中しており、特に、北口は内陸部の市街地からのバス路線が集中し、公共交通を利用しやすい環境づくりも課題となっている。このため、駅周辺を南北方向に縦断する幹線道路整備による都心道路ネットワークの構築やバリアフリー化も含めた安全な歩行空間の確保が必要となっている。以上述べた課題を効率良く一体的に解消することにより、本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地を創出し、当該地区の特性を活かした個性豊かで親しみのあるまちづくりを図っていくことが必要である。

将来ビジョン(中長期)

●『船橋都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』では、では、集約型都市構造に関する方針として「各拠点間のアクセス性の向上を図るため、鉄道駅へのアクセス道路の整備を進め、鉄道と他の交通機関の連絡性を改善し、公共交通の利用促進をはかる。さらに、鉄道駅や公共施設等へのエレベータ設置や歩道の段差解消等を推進するなど、高齢者や障害のある人を含めた、誰もが快適で過ごしやすいユニバーサルデザインに配慮する。」としている。また、都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針において「バス交通については、道路の整備、交通結節点の整備及び道路整備にあわせて、定時性の確保や走行環境の改善を図る。」としている。

●平成12年3月、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」をまちづくりの目標とした『船橋市総合計画』を策定し、当該地区は「産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点として、賑わいのある中心地区としての整備を図る。」こととしている。

●平成24年3月、『船橋市都市計画マスタープラン』を改訂し、当該地区は「広域的な商業機能などの集積を高め、個性豊かな商業地としての形成を図るとともに、中心市街地の再構築を図り、にぎわいと活気にあふれた船橋の玄関口を目指す。」こととしている。

また、「回遊性の高い交流拠点を形成するため、南口地区にペDESTリアンデッキの整備を図る。」こととしている。

●平成24年3月、『船橋総合計画 後期基本計画』を策定し、平成23年度までの成果を踏まえつつ「生き生きとしたふれあいの都市ふなばし」の実現のため、平成24年度からの基本的な方向と体系的な施策内容を明らかにした。

◎都心道路ネットワークの構築 …都市計画道路の整備等 ◎安全・快適な歩行空間等の整備 …南口デッキ・エレベーター、歩道等の整備

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目 標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目 標 値	
						目 標 値	目 標 年 度
4駅定期外乗客数	人／日	4駅(JR船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅、東葉東海神駅)の定期外乗客数(≡来街者数) 【指標:4駅の合計値】	安全・快適な歩行空間等の整備や第1・2期計画により整備された施設等との相乗効果で、来街者を増加させ、にぎわいと活気にあふれた中心市街地を創出する。	85,028	平成26年度	87,000	平成33年度
交通渋滞の緩和	混雑度	地区周辺の国・県道等主要幹線道路の混雑度 【指標:4路線の平均混雑度】	都心道路ネットワークの構築により、地区周辺における主要幹線道路(国道14号線、船橋停車場線、船橋・我孫子線、夏見・小室線)の混雑度を低減させる。	1.59	平成27年度	1.14	平成33年度

都市再生整備計画の整備方針等

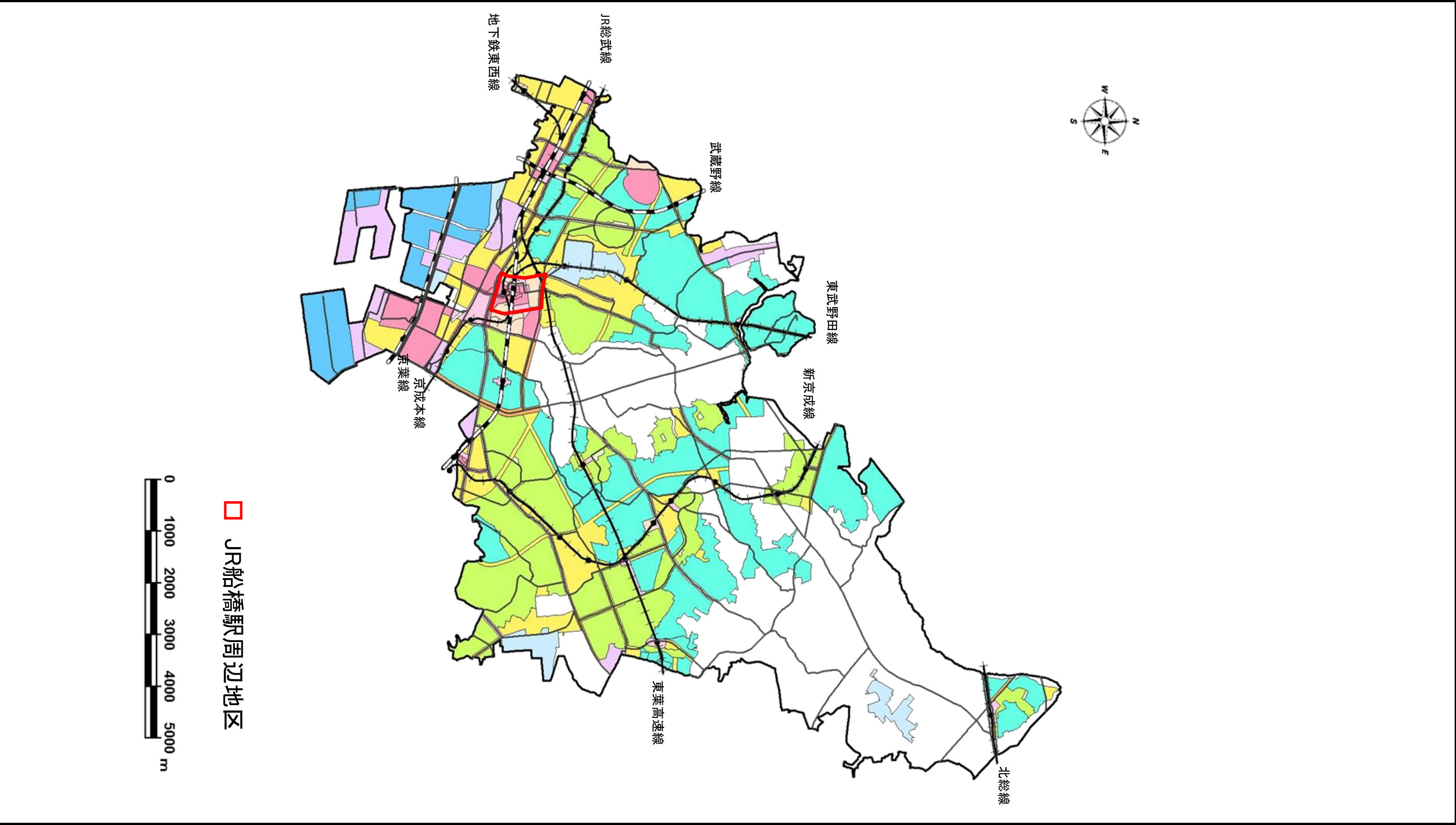
計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・整備方針1 ・駅へアクセスする都市計画道路や駅周辺を南北に縦断する都市計画道路の整備による都心道路ネットワークの構築により、主要幹線道路の交通渋滞の緩和を図る。		【基幹事業】 道路事業:3・3・7号線整備事業
	・整備方針2 ・駅への接続デッキ、エレベーターや駅へアクセスする歩道等を整備することにより、歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高める。	【基幹事業】 道路事業:3・3・7号線整備事業 地域生活基盤施設:JR船橋駅南口エレベーター延伸事業 【関連事業】 JR船橋駅南口ペDESTリアンデッキ整備事業
	・	
その他		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費		3,132	交付限度額		1,252.8	国費率		0.4	(金額の単位は百万円)						
基幹事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路(街路)		都市計画道路3・3・7号線	船橋市	直	L=397m、 W=20～40m	H24	H30	H29	H33	4,100.0	3,038.0			3,038.0	－
道路															
道路															
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設		JR船橋駅南口エレベーター延伸	船橋市	直	－	H32	H32	H32	H32	94.0	94.0			94.0	－
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										4,194.0	3,132.0	0.0	0.0	3,132.0	
提案事業(継続地区の場合のみ記載)															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業															
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	…B
													合計(A+B)	3,132	
(参考)関連事業															
事業		事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費			
						直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度				
JR船橋駅南口ペDESTリアンデッキ		船橋駅南口ペDESTリアンデッキ	JR東日本		67.5m			○	○	H24	H29	170.0			
合計												170.0			

都市再生整備計画の区域

JR船橋駅周辺地区(千葉県船橋市)	面積	68 ha	区域	本町1丁目、4丁目～7丁目、北本町1丁目、海神1丁目、2丁目、夏見1丁目の一部
-------------------	----	-------	----	---



JR船橋駅周辺地区(千葉県船橋市) 整備方針概要図

目 標	本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の再構築並びに 便利で快適な交流拠点づくり	代表的な 指標	4駅定期外乗客数	(人/日)	85,028	(H26年度)	→	87,000	(H33年度)
			交通渋滞の緩和	(混雑度)	1.59	(H27年度)	→	1.14	(H33年度)

